

製品名: CyPA ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09680**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	18kDa

抗原情報

遺伝子名	PPIA
別名	PPIA; CYPA; Peptidyl-prolyl cis-trans isomerase A; PPIase A; Cyclophilin A; Cyclosporin A-binding protein; Rotamase A
遺伝子 ID	5478.0
SwissProt ID	P62937
免疫原	抗血清はヒト PPIA の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 51-100

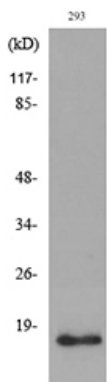
背景

この遺伝子は、ペプチジルプロリルシストランスイソメラーゼ (PPIase) ファミリーのメンバーをコードしています。PPIase は、オ

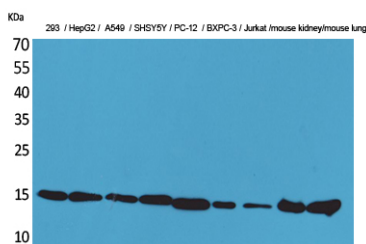
リゴペプチド中のプロリンイミドペプチド結合のシストランス異性化を触媒し、タンパク質の折り畳みを促進します。コードされているタンパク質はシクロスポリン結合タンパク質であり、シクロスポリン A を介した免疫抑制に関与している可能性があります。また、このタンパク質は p55 gag、Vpr、カプシドタンパク質など、いくつかの HIV タンパク質と相互作用し、感染性 HIV ウイルス粒子の形成に必要であることが示されている。異なる染色体にマッピングされる複数の擬遺伝子が報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、触媒活性: ペプチジルプロリン (オメガ=180) =ペプチジルプロリン (オメガ=0)。, 酵素調節: シクロスポリン A (CsA) に結合します。CsA は、PPlase 阻害作用を介してその効果の一部を媒介する。、機能: PPlase はタンパク質のフォールディングを促進する。、機能: PPlase はタンパク質のフォールディングを促進する。オリゴペプチド中のプロリンイミドペプチド結合のシストランス異性化を触媒する。、オンライン情報: シクロフィリンエントリー、類似性: シクロフィリン型 PPlase ファミリーに属する。、類似性: シクロフィリン型 PPlase ファミリーに属する。PPlase A サブファミリー。、類似性: 1 つの PPlase シクロフィリン型ドメインを含む。、サブユニット: HIV-1 カプシドタンパク質と相互作用する。、

研究分野

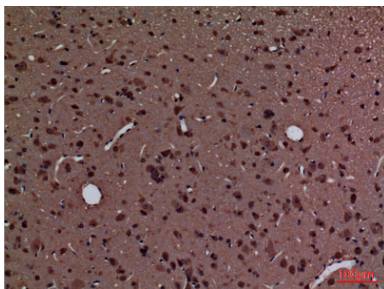
画像データ



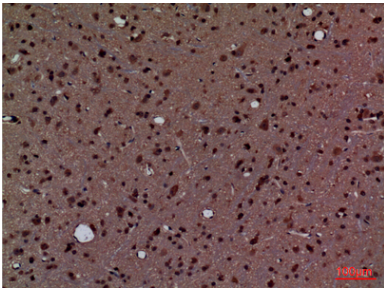
PPIA 抗体を使用した 293 細胞溶解液のウェスタン プロット分析。



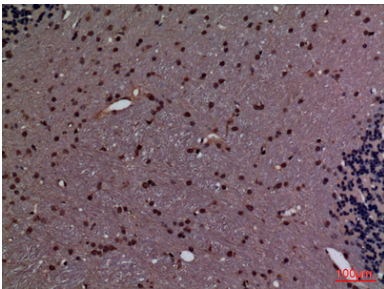
CyPA ポリクローナル抗体を用いた 293、HepG2、A549、SHSY5Y、PC-12、BXP-3、Jurkat、マウス腎臓細胞、マウス肺細胞のウェスタンプロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



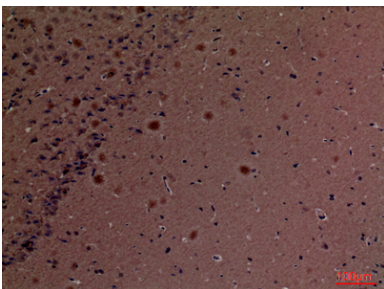
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



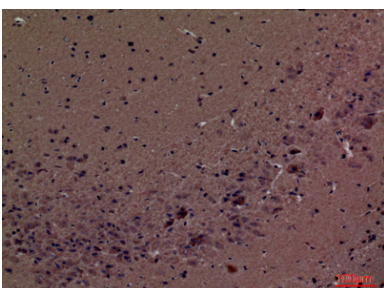
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



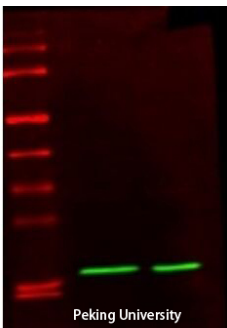
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



写真はお客様から提供されたものです

Ppia